

## 楽しくなければやる意味はない！

### 「参加者」も「スタッフ」も楽しく活動して21年！

特定非営利活動法人 遊び屋本舗

#### 【NPO法人へのあゆみ】

札幌市で、長く子ども会の活動をしてきた仲間たちが「活動の場を札幌市に限らず」「活動の対象を札幌市の子どもに限らず」「活動する者の居住地を札幌市に限らず」広い地域の、たくさん子どもたちと、たくさんメンバーとともに活動したいと「さっぽろ友だちの輪を広げる会 遊び屋本舗」を立ち上げたのは、日韓ワールドカップ開催に向けて日本中が盛り上がりを見せ始めた2002年春のことでした。

当初はないないづくしの活動で、1年間の事業は2～3回のキャンプ「ワイルドキャンプ」のみ、そのキャンプの参加者も小学生の人数よりスタッフの人数のほうが多い回もあったほどです（笑）。



活動2年目のキャンプの様子、参加者は少ないけど楽しい

設立当時は任意のボランティア団体として、法人格もなく、全メンバーが各々の仕事をしながら、または学生生活の傍ら、ただただ情熱と体力だけで活動を続けている状況でした。少ないながらも「友だち」になってくれる小学生たちの、楽しかった！と笑ってくれる顔だけが報酬でした。

そんな活動が10年続き、応援してくれる人や、一緒に活動するメンバーが増え、また協力してくれるキャンプ場や宿泊施設ができ、特に札幌市南区滝野のオートリゾート滝野\*とはとても良い関係ができました。そしてキャンプの参加者も徐々に増え始めました。

気づけば初めてのキャンプに参加した小学生が、中学校どころか高校を卒業して、自分も遊び屋本舗のメンバーとして活動するんだと言って戻ってくる、そんな団体になっていました（当時は中学生対象の事業がなく、小学6年生までが対象）。

活動の拡大を受けて、事業プログラムの企画立案は言うに及ばず、広報や渉外、参加者対応などの事務作業も拡大の一途をたどりました。この頃には、リピーターの参加者も多くなり、友だちを誘ってまた参加する子どもたちが増えていく、という現在のスタイルがほぼ確立していきます。

参加者がもっと楽しく、より幅広いフィールドで活動するためにはどうしたらよいのか？相談を重ね、たどり着いた結論が「法人格取得による団体の信頼性向上」と「専従職員配置による組織的対応」でした。

任意のボランティア団体であった遊び屋本舗は、2014年に「特定非営利活動法人 遊び屋本舗」として新たな門出を迎えることができました。

#### 【主な活動】

ボランティア団体からNPO法人に変わっても、小学生が参加するキャンプなどの集団活動体験が事業の主体であることには変わりません。

設立当初より実施している「ワイルドキャンプ」は、回を重ね、2023年度には37回目の実施となります。小学4年生から6年生が対象で、オートキャンプ場や青少年キャンプ場などでの野外活動を主に行っています。また、低学年対象の「マイルドキャンプ」も歴史のある事業です。宿泊施設などを主に使用していますが、過去には小樽市のキャンプ場でテント泊などをしたこともあります。「マイルドキャンプ」の中でも札幌市南区の宿泊施設を貸し切りで利用する「マイルドキャンプ忍」は、小学1年生から3年生が約200名参

\* オートリゾート滝野は、平成6年に国営滝野すずらん丘陵公園内（札幌市南区）に、全国の国営公園で初めてオートキャンプ場として開業した施設。

加する大型事業として継続しています。

2019年の冬から2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受け、事業の縮小を余儀なくされましたが、2022年度から少しずつ活動を再開し、2023年度の計画では、年間41回の事業を行う予定です。



200名の参加者と2泊3日で忍者修行キャンプ！

上記、二つのキャンプ事業に加え、旭川市を中心に実施する「いちろくキャンプ」、札幌近郊で夏冬それぞれ行う「キャンプに行こう」には、多い時で150名程度の参加申込みがあります。

その他、幼児（年長児）が初めてのお泊りに挑戦する「ちゃいんどキャンプ」や、とにかく『遊ぶ』ことの楽しさを体験する「アソビーナシャベリーナ」、新型コロナウイルスの関係で現在は一時中止をしていますが、家族で参加する「ファミリーキャンプ」など幅広いカテゴリーの事業を用意しています。

NPO法人化してからは、夏休みの時期に「防災キャンプ」と銘打って、中高生を引率して宮城県へ行く防災研修・被災地学習も実施しています。

宿泊事業以外では、道内各地で絵本体験を提供する「読み聞かせキャラバン」もNPO法人化してから開始した事業です。協力関係のあるNPO法人と合同で「忍者修行」遊びも同様に道内各地で実施しています。

集団活動体験型の事業ばかりではなく、青少年健全育成事業も同時に実施しており、ボランティア団体当時から名称が変わっていますが、こちらも継続して実施している「ジュニアリーダー研修会」は2020年度から旭川市近郊でも開催することができるようになり

ました。

ジュニアリーダー研修会は小中学生が主体ですが、中学生まで研修に参加した高校生も「シニアリーダー研修生」として毎回研修に参加し、会員と同じ目線でプログラムの企画や進行、事業の運営を学ぶスタッフの立場と一緒に活動しています。高校2年生まで活動した研修生は、次年度からNPO法人の正会員として、また新たに活動を続けていくことになります。

## 【会員】

遊び屋本舗では、NPO法人でいうところの「社員」を正会員と呼称しています。2023年4月現在で正会員45名が所属しています。

正会員の大半は札幌市近郊に在住していますが、遠方や道外の方でも入会される方がいます。



1年に1度だけ真面目な顔「総会」の様子

正会員以外には「ボランティア会員」があります。活動当日に参加して活動してくれるメンバーです。こちらでも2023年4月現在で180名が遊び屋本舗ボランティア会員として活動しています。

正会員は毎週行っている定例会に参加し、事業の企画やプログラムに関する意見を言ったり、会の運営についての相談をすることができます。

正会員・ボランティア会員いずれも随時入会を受け付けています。ご自分の生活スタイルにあわせて遊び屋本舗と一緒に活動してみませんか。